

大学院オラトリオ・アンサンブル演奏会

2021年12月19日(日)
14時00分 開演 (13時30分 開場)
シルバーマウンテン 1F

⚠ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

~ Program ~

J.S.バッハ / 教会カンタータ第 147 番「心と口と行いと生活が」

Johann Sebastian Bach (1685- 1750) // Herz und Mund und Tat und Leben BWV147

1. Chorus
Herz und Mund und Tat und Leben
2. Rezitativo (Tenore)
Gebenedeiter Mund! 櫻井 亮太
3. Aria (Alto)
Schäme dich, o Seele, nicht 川崎 麻衣子
4. Recitativo (Basso)
Verstockung kann Gewaltige verblenden 服部 聖人
5. Aria (Soprano)
Bereite dir, Jesu, noch itzo die Bahn 長島 彩
6. Choral
Wohl mir, daß ich Jesum habe
7. Aria (Tenore)
Hilf, Jesu, hilf 尤 攀
8. Recitativo (Alto)
Der höchsten Allmacht Wunderhand 川崎 麻衣子
9. Aria (Basso)
Ich will von Jesu Wundern singen 氷見 健一郎
10. Choral
Jesus bleibet meine Freude,

~ Program notes ~

この作品は、J.S.バッハ(1685-1750)が 1723 年 7 月 2 日の聖母マリアのエリザベス訪問の祝日のためにライプツィヒで作曲した、教会カンタータである。とはいえ、バッハは 1716 年にワイマールで降誕節第 4 日曜日のためにこのカンタータの作曲に着手していた。この時点では、ワイマールの宮廷詩人であるザーロモン・フランク(1659-1725)の台本による合唱、4 つのアリア、終結コラールの 6 曲からなるもの(BWV147a)であったが、未完のまま作曲は中断された。この曲を聖母マリアのエリザベス訪問の祝日に転用したのは、この頃ライプツィヒで、降誕節期間のカンタータの演奏が粛清されており、そのままでは、BWV147a がお蔵入りとなってしまったからであった。新しく挿入された歌詞の作者はほとんど不明だが、前後 2 部の最後を締めくくる「主よ、人の望みの喜びよ」の名で親しまれているコラールは、マルティン・ヤーン(1620-1682)によって作詞されたとされている。アリアは全て BWV147a からの転用であるが、レチタティーヴォは全てこのときに付け加えられた新作である。

聖母マリアのエリザベス訪問の祝日に朗読される福音書章句は、ルカによる福音書の第 1 章 39 から 56 節である。ここは、大天使ガブリエルによるマリアへの受胎告知に続く箇所、マリアが洗礼者ヨハネの母であるエリザベトを訪問する部分を含み、エリザベトから受胎を祝福され感動したマリアの、神を讃美する言葉(マニフィカト)も含まれている。

1 Chorus

Herz und Mund und Tat und Leben,
Muß von Christo Zeugnis geben,
Ohne Furcht und Heuchelei,
Daß er Gott und Heiland sei.

心と口と行いと生活が
キリストについての証を
おそれも、偽りもなしにしなければならぬ
キリストこそ神であり救い主であると。

2 Recitativo accompagnato (Tenore)

Gebenedeiter Mund!
Maria macht ihr Innerstes der Seelen
Durch Dank und Rühmen kund;
Sie fänget bei sich an,
Des Heilands Wunder zu erzählen,
Was er an ihr als seiner Magd getan.
O menschliches Geschlecht,
Des Satans und der Sünde Knecht,
Du bist befreit
Durch Christi tröstendes Erscheinen
Von dieser Last und Dienstbarkeit!
Jedoch dein Mund und dein verstockt Gemüte
Verschweigt, verleugnet solche Güte;
Doch wisse, daß dich nach der Schrift
Ein allzuscharfes Urteil trifft!

幸せな口よ！
マリアは魂の内奥にあるものを
感謝と讃美をこめて言い表した
彼女はおのが身に即して
救い主の不思議な業を語り始めた
救い主が婢女である自分になされたことを
ああ、世の人々よ
悪魔と罪の下僕よ
あなたがたは解放されたのだ
キリストの心慰める出現によって
世の重荷と責苦から
だがあなたがたの口と頑な心は
沈黙し、その御恵みを拒んでいる
だが知るが良い、聖書によってお前に
厳しい裁きが来ることを

3 Aria (Alto)

Schäme dich, o Seele, nicht,
Deinen Heiland zu bekennen
Soll er dich die seine nenen
Vor des Vaters Angesicht!
Doch wer ihn auf dieser Erden
Zu verleugnen sich nicht scheut,
Soll von ihm verleugnet werden,
Wenn er kommt zur Herrlichkeit,

臆することはない、ああ、魂よ
あなたの救い主をあがめるのに
もしも救い主に自分をわがものと
父の御前で呼んでほしいのならば
この地上で救い主を
認めようとしない者は
救い主に必ずや否まれるだろう
彼の栄光の時に

4 Recitativo (Basso)

Verstockung kann Gewaltige verblenden,
Bis sie des Höchsten Arm vom Stuhle stößt;
Doch deiser Arm erhebt,
Obschon vor ihm der Erde Kreis erbebt,
Hingegen die Elenden,
So er erlöst.
O hochbeglückte Christen,
Auf, machet euch bereit,
Itzt ist die angenehme Zeit,
Itzt ist der Tag des Heils: der Heiland heißt
Euch Leib und Geist
Mit Glaubensgaben rüsten,
Auf, ruft zu ihm in brünstigem Verlangen,
Um ihn im Glauben zu empfangen!

強情な心は、強い者をも盲目にする
やがて彼らは至高者の手でその位を追われるのだ
だがこの御手が高めるのは
たとえ地上が主の御前に震えても
心ある貧しい者をのみ
救い主は彼らをお救いになる
おお、幸せなキリスト者たちよ
立って、備えなさい
今こそ喜びの時
今こそ救いの日、救い主は命じられる
肉体と心を
信仰をもって捧げることが
さあ、主に心からの願いを呼びかけ
堅い信仰のうちに主を迎えなさい

5 Aria (Soprano)

Bereite dir, Jesu, noch itzo die Bahn,
Mein Heiland, erwähle
Die gläubende Seele
Und siehe mit Augen der Gnade mich an!

イエスよ、道を開いてください
私の救い主よ、選んでください
信じるものの魂を
恩みのまなざしでわたしをみてください

6 Choral

Wohl mir, daß ich Jesum habe,
O wie feste halt ich ihn,
Daß er mir mein Herze labe,
Wenn ich krank und traurig bin
Jesum hab ich, der mich liebet
Und sich mir zu eigen gibet;
Ach, drum laß ich Jesum nicht,
Wenn mir gleich mein Herze bricht.

わたしがイエスをもつことの、なんという幸せ
おお、わたしは主を堅く守ります
イエスはこの心を元気づけてくださる
わたしが病み、悩むとき
イエスをわたしはもち、イエスはわたしを愛し
わたしに御自身を委ねてくださる
ああ、だからわたしはイエスを離れない
傷心の時にも

7 Aria (Tenore)

Hilf, Jesu, hilf, daß ich auch dich bekenne
In Wohl und Weh, in Freud und Leid,
Daß ich dich meinen Heiland nenne
Im Glauben und Gelassenheit,
Daß stets mein Herz von deiner Liebe brenne.

イエスよ、助け給え、この私もあなたを言い表せるように
幸せの時も悩みの時も喜びの時も悲しみの時も
あなたを救い主と呼ぶように
信仰の中にも平穩の中にも
いつもわたしの心があなたの愛に燃え立つように

8 Recitativo (Alto)

Der höchsten Allmacht Wunderhand
Wirkt im Verborgenen der Erden,
Johannes muß mit Geist erfüllet werden,
Ihn zieht der Liebe Band
Bereits in seiner Mutter Leibe,
Daß er den Heiland kennt,
Ob er ihn gleich noch nicht
Mit seinem Munde nennt,
Er wird bewegt, er hüpfet und springet,
Indem Elisabeth das Wunderwerk ausspricht,
Indem Mariae Mund der Lippen Opfer bringet.
Wenn ihr, o Gläubige, des Fleisches
Schwachheit merkt,
Wenn euer Herz in Liebe brennet,
Und doch der Mund den Heiland nicht
bekennet,
Gott ist es, der euch kläftig stärkt,
Er will in euch des Geistes Kraft erregen,
Ja, Dank und Preis auf eure Zunge legen.

至高の全能者のふしぎな御手は
この世の隠れたものにも働く
洗礼者ヨハネは精霊にみたされ
愛のきずなに
母の胎内にあっても引かれ
だからヨハネは知っていた
まだ口で主の御名を
呼ぶこともできないうちに
彼は靈感に動かされ、飛び、はねた
エリザベツは奇蹟の御業をたたえ
マリアは口に、讚美の言葉を捧げた
おお信仰者たちよ、あなたがたの肉体の弱さに気づいたとき

心は愛に燃え
口で救い主を言い表せないとき
神こそは、あなたがたを力づける
神は、あなたがたに精霊の力を注ぎ
感謝と賛美を口にさせてくださるだろう

9 Aria (Basso)

Ich will von Jesu Wundern singen
Und ihm der Lippen Opfer bringen,
Er wird nach seiner Liebe Bund,
Das schwache Fleisch, den ird'schen Mund
Durch heil'ges Feuer kräftig zwingen.

わたしはイエスの奇蹟を歌い
賛美の言葉を捧げよう
イエスは愛のきずなをもって
弱い肉体、世に汚れた口を
聖なる炎で奮い立たせてくださるだろう

10 Choral

Jesus bleibet meine Freude,
Meines Herzens Trost und Saft,
Jesus wehret allem Leide,
Er ist meines Lebens Kraft,
Meiner Augen Lust und Sonne,
Meiner Seele Schatz und Wonne;
Darum laß ich Jesum nicht
Aus dem Herzen und Gesicht.

イエスは常にわが喜び
わが心の慰め、心の潤い
イエスはすべての悩みから守ってくださる
わが生命の力
わが眼の喜び、そして太陽
わが魂の宝、そして歓喜
だからわたしはイエスを
心からも眼からも離さない

~ Profile ~

指揮 櫻田 亮 (客員教授)

東京藝術大学卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。イタリア国立ボローニャ音楽院に留学。イタリア各地でモンテヴェルディ「ウリッセの祖国への帰還」に出演した他、'07年のモンテヴェルディ「オルフェオ」初演400年では、世界的なヴィオラ・ダ・ガンバ奏者であるJ.サヴァールなどのグループとエジンバラ音楽祭等で共演。国内でも東京二期会「ラ・チェネレントラ」ドン・ラミーロ、新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ等のオペラ出演の他、W.サヴァリッシュ指揮によるN響をはじめ読日響、新日本フィルなど数多くのオーケストラと共演。中でもバロックから古典派の作品をレパートリーに国際的に高い評価を得ており、鈴木雅明氏率いるバッハ・コレギウム・ジャパンとはCD録音やコンサートでの共演他、ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリア・イスラエル等の海外ツアーにも参加。また、イタリア・バロック音楽の普及にも務めている。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞受賞。ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)。東京藝術大学教授。二期会会員。

~ Member ~

洗足学園音楽大学大学院アンサンブル研究履修生

ソプラノ	後藤 ゆずか ^(院2)	長島 彩 ^(院2)	村田 涼 ^(院2)	脇屋敷 美里 ^(院2)
	木内 育美 ^(院1)	杵鞭 遊 ^(院1)	屈 宇琦 ^(院1)	芳村 早紀子 ^(院1)
アルト	張 一嬌 ^(院2)	渡辺 華子 ^(院2)		
	浅谷 里美 ^(院1)	上荒磯 佐和 ^(院1)	川崎 麻衣子 [♪]	
テノール	石川 敦也 ^(院2)	陳 瀛傑 ^(院2)	尤 攀 ^(院2)	
	郭 大楚 ^(院1)	櫻井 亮太 [♪]		
バス	舒 錦濱 ^(院1)	川田 直輝 [♪]	服部 聖人 [♪]	氷見 健一郎 [♪]

洗足学園音楽大学大学院室内管弦楽団

コンサートミストレス	筱崎 愛 ^(学4)			
ヴァイオリン	早川 萌音 ^(学3)	頼近 友莉奈 ^(学3)	勝部 小夏 ^(学2)	
ヴィオラ	山下 智史 ^(学4)	山本 里真 ^(学4)		
チェロ	原 美月 [♪]			
コントラバス	嶋野 晴斗 ^(学4)			
オーボエ	河村 真歩 ^(院1)	堀 友香 ^(学3)		
ファゴット	前澤 美里 ^(学4)			
トランペット	高木 美雨 ^(学3)			
オルガン	安藤 真伊 [♪]			

♪…演奏補助要員

授業担当教員	櫻田 亮			
授業担当ピアニスト	安藤 真伊 ^(演奏補助要員)			
オーケストラ指導教員	篠崎 隆	林 辰則	中 一乃	沼田 園子
	古田 賢司	渡部 亨		
制作企画運営責任者	柳澤 涼子			
アカデミックコーディネーター	君島 広昭			